

ごあいさつ

2026 年度精密工学会春季大会学術講演会に参加をご予定頂き、心より御礼申し上げます。埼玉大学での大会は、1985 年（小林 昭実行委員長）、2010 年（堀尾 健一郎実行委員長）、に続き、今回で 3 回目となります。歴史ある学会の大会ホストとして、皆様をお迎えできることは大変光栄に存じます。

さて、本大会のキャッチフレーズは「心を紡ぐ 精密工学の知と技」と定め、“心”をテーマにしました。昨今の世界情勢に目を向ければ、罪なき多くの人々が紛争に巻き込まれて苦しんでいます。そこでは、科学・技術者の果たすべき責任についても厳しく問われています。ご承知のとおり、科学技術は社会を豊かにし、人々が心身共に幸福になるためのものです。そこで、“精密工学の知と技”で“平和を大切に思う心、誰かを、何かを大切に思う心”を紡ぐ大会にしたいと思います。

初日には、半導体製造技術シンポジウムがあり、「日の丸半導体」を先導する企業責任者によるシンポジウム基調講演が予定されています。夕刻からの「学生と企業とのつどい」は、学生 100 名と機器展示企業の人事が対面で会話する機会としました。

二日目の特別講演会では、精密工学技術を駆使して植物の神秘の機能を世界で初めて明らかにした分子生物学者の講演が予定されています。サイエンスの最前線で活躍する精密工学のお話に心ときめく一時をお過ごしください。夕刻からの懇親会は、大学をとびだし、さいたま新都心の素敵なホテルで開催します。華やかでリラックスした雰囲気の中で全国のおいしいお酒と浦和のうなぎなどを心ゆくまで堪能ください。皆様の交流がいっそう活発となり心通わす温かな一時をお過ごし頂ければ幸いです。

三日目は、平和と技術と人に思いを馳せるイベントとして、大和ミュージアム（吳市海事歴史科学館）館長 戸高一成氏に基調講演をお願いしています。「NHK アカデミア」や「海軍反省会」でご存知の方もいらっしゃると思います。いまを生きる私たち技術者的心に静かに響くお話が伺えると思います。

全日開催の学術講演会では、知的好奇心を満たし、各種イベントでは気づきや心温まる交流が持てるよう準備をして参りました。この大会が皆様にとって、心に響く、心に染みる、心を打つ、心動かされる、心を寄せる、心に刻む、心通わす、心弾む、心ときめく、心躍る、心に残るものとなりますことを願いつつ、実行委員会一同、心残りのないよう最高のホスピタリティをもって運営に当たらせて頂きます。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。

2026 年度精密工学会春季大会実行委員会

委員長 池野 順一

